

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

小学部3年生工場見学報告会 三菱キャタピラフォークリフト工場

2月25日(土)、標記の報告会が補習校図書室を会場にして開催されました。



報告会には、三菱キャタピラフォークリフト株式会社から永井博史社長さん、春田光一さん、三輪明義さんの臨席を頂戴し、3年生の保護者も殆ど出席していただきました。

この報告会は、昨年11月5日(土)の午前中、同社の工場見学をさせていただき、その内容について約3ヶ月かけてまとめ上げたものです。ABC各組が各々3班に分かれ、趣向を凝らした壁新聞形式に仕上げ報告しました。

報告会は3C担任の縄手千栄先生の司会で始まりました。



【はじめの言葉】

A組の水野妃織さんは「私たち3年生は社会科の授業で、みんなの町・工場で働く人びとを学習しました。」と話しました。次いでB組の竹内泰雅君が「僕たちは三菱キャタピラフォークリフトアメリカ工場で学んだ事を新聞にまとめました。」と話し、C組の鈴木妙さんは「一生懸命に発表します。どうぞ聞いてください。」と開会の挨拶をまとめました。

【発表】

1班あたり、5分間というわずかな時間でしたが、各班共に工夫を凝らし、全員が自分の担当としたところを発表しました。



【発表後】



(永井社長さんに贈呈)



(春田さんに贈呈)



(三輪さんに贈呈)

各学級の代表が作成した新聞を永井社長さん(A組の岩原果奈さん、村田萌歌さん)、春田さん(C組の岡奈津美さん、川本太朗君)、三輪さん(B組の中山健史君、星野未宙さん)に贈呈しました。

その後、松本洋輔君が「工場見学発表会を見に来て



くださってありがとうございます。」とお礼の言葉を述べ、工場見学での感想などを申し上げました。

永井博社長さんからは「とってもよくまとめて発表しましたね。」とお褒めの言葉を頂戴しました。

最後に中島満校長が工場見学と発表会臨席のお礼の言葉を申し上げると共に、発表会の感想を述べ、閉会となりました。その後、永井社長さん達児童、保護者



も加わって記念写真を撮りました。

そして、保護者の皆様にご手伝っていただき、後片付けをしました。三菱重工の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

古今亭菊志ん師匠の落語を聴いて見て

2月18日(土)開催された標記の落語会の感想の一部が届きました。ご紹介します。とても楽しかった様子が伺えます。

マイクの前でそば食べる！

小3A 岸田 嵩寛 (安田学級)

ほ習校のオーデトリウムに、おそばの食べる音が笑いと同時にひびきわたりました。菊志ん師匠のおそばの食べっぷりはまるで本物のようでした。

そう思うと、笑いが止まらなくなってきました。「よく、あんなに長くそばを食べいるふりができるな。」と、考えていると、うどんはめんが太いので、ゆっくりすすっているようです。「ズル ズルズル ズル・・・」

聞いているうちに、何か変な感じがしてきました。この音を、鼻水をすすっている音にたとえてしまって、本当にそう聞こえてきました。ますます笑いが止まらなくなりました。「落語家はみんなそれぞれちがうやり方でやるんだな。」と思いました。

落語

小3A 岩原 果奈 (安田学級)

土曜日、古今亭 菊志ん師匠が落語をしに日本から来てくれました。菊志ん師匠は落語のかいせつもしてくれました。

私が一番おもしろと思った所は、菊志ん師匠が「では、校長先生、色っぽくイヤリンをはずしてください。」たのまれた校長先生がぶ台へ出てきた時でした。校長先生はてれくさそうに、「生まれた時からずっと男をやっていたので・・・。」と言う間、菊志ん師匠は「あたりまえですよ。」と言いました。

古今亭菊志ん師匠の独演会

小3A 保阪 明奈 (安田学級)

今日、補習校で古今亭菊志ん師匠さんの独演会がありました。始めオーデトリウムに入った時、目に入ったのがざぶとんでした。ときどきテレビで、ざぶとんをひいて面白いことを言う番組を見るけど、それと同じかなと思いました。

次に、独演会が始まって古今亭菊志ん師匠さんが出てきて2つの物を出しました。それはせんすと手ぬぐいです。

その後、面白い落語が始まりました。私が一番好きだったのは 一八十木木さんのお話です。

最後に東日本大しん災で苦しんでいる人々を思って「ガンバレ日本！」と生徒と全員でさげんだところがうれしかったです。またいつか、古今亭菊志ん師匠さんがほ習校に来てほしいなと思いました

初めての落語

小3A 永尾 一晟 (安田学級)

ぼくは、最初落語はどういうものなのか知りませんでした。でも、菊志ん師匠の落語を聞いて、落語がとても楽しい事が分かりました。

落語はせんすと手ぬぐいを使って話す事がわかりました。そばとうどんの食べ方もわかりました。その中でぼくが一番おもしろいと思ったのが松竹梅でした。もっと落語を聞きかったです。

落語家のそばの食べ方

小3C 安達 日菜乃 (縄手学級)

きのう、落語家のおじさんがほ習校に来た。

おじさんは、とても楽しくておもしろい落語をしてくれた。わたしは、たくさんわらったので、おなかがいたくなった。

わたしが一番楽しいと思ったのは、おじさんのそばの食べぶりだった。左手でおわんを持つふりをして、右手のせんすをはしのかわりにして、ズルズル食べた。

その音は、本物みたいだった。食べる前には、はしでそばをかきまぜて、持ち上げた。そのしぐさも、本物みたいだった。1人の男の子が手をあげて、そばを食べるまねをした。とても上手だった。

ほかの男の子が、そばとうどんの食べ方のちがいについてしつ問した。うどんはそばより太いから、音がちがうとおじさんは答えた。落語家はいろいろなことを知っていると思った。

わたしは、はじめて落語を聞いて、とてもおもしろくて楽しかった。また聞きたいと思った。



落語

小3C 鈴木 妙 (縄手学級)

先週の土曜日に落語を見ました。どれもおもしろかったけれど、一番私がおもしろいなと思ったのは、字が読めない男の子のお話です。

さいしょに、いろいろなことをくり返し聞いたり、いいわけを言ったのは字が読めないからだったんですよ。私だったらすぐに、「私は字が読めないんです。」と言うと思います。

それでその後、色々なへんな名前がいっぱい出てくるんです。「ひらりん」さんとかほかにもいっぱい。

私が注目したのは「一八十の木木」です。どうしてそんな名前になるんだよ、と思わずその人に問いかけたぐらいです。落語のおもしろさが分かって本当によかったです。

落語の感想

小5 B 小関 玲榮 (和田学級)

今日補習校で落語会がありました。日本から古今亭菊志ん師匠が来てくれたのです。

私は、字が読めない人たちがくりひろげる、とてもおかしな江戸時代のお話が大好きになりました。

菊志ん師匠は、一人すわったままお話をしているのですが、聞いているうちに、たくさんの方がお話をしていることが想像できました。体を傾けたり、話し方を変えたりして、男性と女性、若い人と年取った人の会話がくるくる変わるのがおもしろかったです。

それと、おそばを食べるしぐさにはおどろきました。せんすをもって手と口の格好で本当に食べているように感じました。私は見ながらお腹がすいてしまいました。

お父さんは、私が落語の話をするとよろこんでくれました。おとうさんは、小さい頃おじいちゃんが落語によく連れて行ってくれたそうです。今も、日本に仕事で帰っても、一人でふらふらと落語を見に行くそうです。落語を楽しむと、日本に帰ってきたことを感じるし、日本語で講演する時の勉強になると言っていました。

日本からはなれたヒューストンで落語を楽しめてラッキーだと思います。古今亭菊志ん師匠に感謝します。今度日本に帰ったらお父さんといっしょに落語を見に行きたいと思います。

落語のおもしろさ

小5 B 前田ありさ (和田学級)

補習校で落語を聞くと聞いた時、何だろうと思いました。テレビの「笑点」に出てくる様な着物を着た人が、座ぶとんに座っておもしろい話をしてくれると聞いて、少し心配になりました。「笑点」は見るけれど、時々わからない言葉が出てくるので、楽しめるか不安になったのです。

でも、それは心配しすぎでした。息ができなくなる位笑って、とても楽しすぎました。

私は2番目のお話が特に気に入りました。気がついたら、「ひらたか町の平林」と教室まで歌っていたくらいです。

他にも、体験コーナーでは、校長先生のイヤリングをはずしポーズが楽しかったです。校長先生はイヤリングをしたことがないと思います。それをジェスチャーでなくちゃいけなかったところが、すごくすごく楽しかったです。また落語を楽しみたいです。

落語の感想

中1 B 木下颯乃 (佐藤学級)

私が落語を見るのは、今回が初めてでした。

私は今まで、落語はおじいさんやおばあさんなどのお年寄りの方々が見る、少し難しいものだという勝手な妄想を抱いていたのですが、実際に落語を見て、落語は分かりやすく面白いなものだと感じました。

ひとりで何人もの人を座りながら演じるのは難しいと思いますが、登場人物が歩いたり、泣いたりしながら話をしている様子が手に取るように分かりました。

素晴らしい技術だな、と思いました。

中島満校長先生の特別授業

《自己理解・自己啓発・自己実現》



2月25日、第2時限目、中島校長先生は小学部5年生で合同授業を行いました。

5年生は現地校ではミドルスクールに進学する時期であることから、自己伸張を計るための話しが中心となりました。

「自己理解、自己啓発、自己実現」の3点について、具体的にどのようにして深めていくかを話しました。子ども達はとても真剣に私の話を聞いてくれました。彼らの持つ能力や知性、感動する心情等、真に素晴らしいものでした。

「子ども達は未来からの留学生」とも比喻されます。今後の学業成就を限りなく期待しました。



◆パトロール当番予定表3月10日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小6	3 2	寺田凌大
		2	3 3 森岡秀平
		3	3 4 川本さくら
		4	3 5 油井 馨
	中1	1	木下美颯
		2	安達果穂
		3	一尾園子
★PM1リーダー	中1	4	若田晶雄
		2	5 藤田芽依
		3	6 オブライエン恵里花
		4	7 武井拓博
		5	8 柳辺大輔
		6	9 前田健斗
		7	1 0 伊東大拓

